

登録コード	E8962400	開講年度	2026			
授業科目	卒業研究				担当教員	沖嶋 直子
英文授業名	Undergraduate Research				副担当	
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室	教育研究室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	1年間の自律した研究活動を通して、小学校ならびに中学校高等学校の家庭科の教員として、職務を遂行するのに必要とされる公共的使命感や倫理観を身につけている。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	1年間の研究活動を通して、3年次までの座学や実験実習で身につけた以上の食物学領域の知識や実験技能を身につけ、それを教育活動に活かそうとする姿勢が身につけている。
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、環境共生、健康長寿、防災減災					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	食物学や調理学におけるこれまでの学びを踏まえて研究課題を設定し、課題解決のためにその先行研究の調査、研究方法を検討、確立し、実践して結果を得る。さらに、これを論文としてまとめ、発表する過程を通じて文章力やプレゼンテーション力を磨く。 実務経験のある教員の担当：実験機器メーカー技術職勤務時の初心者実験トレーニングコースのトレーナー経験を活かした研究指導を展開する。その他、茶道准教授の許状保持者として、食文化に関する研究指導も展開する。					
(5)授業計画	第1段階：研究の進め方（研究ガイダンス） 第2段階：課題探索のための文献検索法 第3段階：課題決めと研究計画立案 第4段階：各自の研究テーマに沿った研究活動①（実験あるいは調査） 第5段階：研究活動①のフィードバック 第6段階：第5段階を踏まえた研究活動②（実験あるいは調査） 第7段階：研究活動②のフィードバック 第8段階：第7段階を踏まえた研究活動③（実験あるいは調査） 第9段階：研究活動③のフィードバック 第10段階：第9段階を踏まえた研究活動④（実験あるいは調査） 第11段階：研究活動④のフィードバック、これまでの研究成果のまとめ 第12段階：卒業論文の書き方 第13段階：卒業論文の執筆 第14段階：研究発表資料作成（発表要旨、パワーポイント）、授業アンケート実施 第15段階：研究発表実施 第3段階～第13段階までは、研究活動と並行して論文の輪読会を行う。					
(6)成績評価の方法	研究を通して、食物学や調理学、食文化、食物アレルギーに関する知識や関心を深めるとともに、科学的なものの見方・考え方を身につけることができたか、さらに、研究の手法を学び、主体的に研究テーマを設定し、実際に研究を遂行し、結果をまとめ、公表することを通して科学的・学問的な課題解決の能力を身につけたかを、研究への取り組み（50%）、研究の成果及び発表（50%）を総合的に評価する。ただし、評価割合は若干の調整を行うことがある。 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	①研究テーマの設定、ならびにその問題の背景を適切に説明できており、②その問題に現在どのような課題があるかを指摘できており、③それらの課題に対して先行研究等を踏まえ、解決のための仮説を立て、④それを実証するために調査・実験等を行い、⑤研究結果をまとめ、卒業論文を作成するとともに、成果を発表する、の5項目について十分に満たされていれば「卓越している」、4項目を満たしていれば「かなり上にある」、3項目を満たしていれば「やや上にある」、2項目を満たしていれば「その水準にある」とする。					
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業時に指示する課題内容について、事前の取り組みを行い授業に臨むこと。研究の進捗状況については、適宜確認の時間を取る。 定期的に抄読会を実施するため、日ごろから論文検索を行い、自身の研究に関連する論文を中心に読み込んでおくこと。					
(9)履修上の注意	・研究課題に積極的に取り組むこと。 ・関連する情報を普段から積極的に収集すること。 ・これまでの受講生が、試料の貴重性を意識せず安易に無駄遣いや指導教員の確認なく廃棄をすることに苦慮している。今後も続くようであれば、研究のための材料費が自己負担となることがある。その際は、事前に通達する。 ・期限までに卒業論文を提出しない場合は、単位を認定しない ・「授業で学べるテーマ」はそれぞれの受講生の研究課題により変わる。					

(10)質問，相談への対応及び連絡先	質問，相談は，随時受け付ける。研究室は，西校舎307室。 メールアドレス：okishima_naoko@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	特になし。
【参考文献】	「理系なら知っておきたいラボノートの書き方」岡崎康司，隈藏庚一編集，羊土社 2500円＋税 「基礎化学実験安全オリエンテーション」山口和也，山本仁著，東京化学同人，1900円＋税 他は講義内で提示する。